



2013年 新年ご挨拶

スーパー連携大学院コンソーシアムwebニュース
2013年1月17日号

●2013年 新年ご挨拶

スーパー連携大学院コンソーシアム 会長
梶谷 誠



あけましておめでとうございます。

今年は、スーパー連携大学院が始動して3年目を迎えます。いよいよ、博士を目指す博士後期課程への進学者を受け入れることになります。

昨年10月に、文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」に採択され、スーパー連携大学院のさらなる発展に挑戦することになりました。実質的には、スーパー連携大学院コンソーシアムが主体となり、各大学が位置する地域の活性化を、その地域の産学官の連携に留まらず、全国に広がる特色ある地域同士の連携によってそれぞれの地域の特色を活かした新しい価値の創造を目指そうとしています。

地域の活性化、地域の再生が叫ばれて久しく、さまざまな施策も実施されてきましたが、必ずしも十分な効果は得られておらず、特に地方の疲弊はむしろ深刻になっています。このような現状から、現在のグローバル化時代には、地域の活性化をその地域に閉じたままでは解決できないと考えました。地域の文化、産業など地域の特色、強みを他の地域のそれと組み合わせることで新しい価値を生み出し、日本のみならず海外へも発信できなければせっかくの地域の価値が死んでしまいます。

スーパー連携大学院は、それぞれの地域の智の拠点としての大学を核に、地元の産業界、行政が一体となって課題解決に協働し、併せてそこに志の高い若者を参加させ、次代を担う指導者を育成するという二つの目的を同時に進行させようとしています。その際に、地域の枠を超え、国の枠を超え、グローバル時代にふさわしい問題解決と人材育成ができるように、全国的、世界的な連携のネットワークを活用する仕組みを構築することを目指しています。

我が国の最も重要な資源は人材であると言われてきました。歴史的にみても、教育に力を注いできた長年の蓄積が、危機的状況に陥っても、秩序を保ち、再生に立ち向かう日本国民の優れた資質を育んできました。元気な日本を取り戻すことができるのは、若者たちです。若い人たちに思う存分力を発揮してもらわねばなりません。そのためには、若い優れたリーダーが必要です。彼らに、多様な分野で活躍してもらわねばなりません。全国の各地域でも、リーダーになってもらわねばなりません。

自らの力を思い切り発揮したい人、自分の力で新しい世界を切り開きたい人、自分の力で日本を、人類を救いたい人、自分の力で社会を、世界を驚かせたい人、スーパー連携大学院に参加しませんか？スーパー連携大学院で学んで世界に飛躍しませんか？